

福祉教育の お手伝いします！



郡山市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、
小・中学校の福祉教育への取り組みをお手伝いしています。
福祉教育を通じて、障がいのある方や高齢の方などを理解し、
みんなが笑顔で安心して暮らせる支えあい・助けあいのまちづくりを
目指しています。
総合学習などで福祉教育に取り組まれる時には、お気軽にご相談ください。

☆福祉教育リスト☆ ※講座内容の詳細は裏面をご覧ください。

| 講座名 | 所要時間 |
|------------------------------|--------|
| 車いす体験(講話+体験) | 1時間45分 |
| ブラインドウォーク体験(講話+体験) | 1時間45分 |
| 高齢者疑似体験(講話+体験) | 1時間45分 |
| ボランティア(福祉)ってなあに?(講話) | 1時間 |
| NEW そもそも障がいって?(講話+演習) | 1時間45分 |

☆申し込みの流れ☆

- ①郡山市社会福祉協議会ボランティアセンターまでご連絡ください。
↓
- ②依頼書を原則1か月前までにご提出ください。
↓
- ③当日の流れについて、事前の打合せをさせていただきます。
↓
- ④講座実施。

郡山市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒963-8024 郡山市朝日一丁目29-9

TEL 024-924-2968 FAX 024-924-2954

お問い合わせ

☆ 講座内容紹介 ☆

○ ボランティア(福祉)って なあに?(講話)



【内容】
ボランティアをするときの心構えや、福祉について学習します。

○ 車いす体験



【内容】
車いすの介助方法や実際の車いす乗車体験を通して、共に支え合い尊重し合うことの大切さを学習します。

○ ブラインドウォーク体験



【内容】
アイマスク体験や介助方法、「点字」について学習します。

○ そもそも障がいって? (講話+演習)



【内容】
身体に障がいのある当事者からの話を聞き、本当の意味でのノーマライゼーションについて学習します。

※ノーマライゼーションとは…
高齢者や障がい者などを排除するのではなく、健常者と同等に当たり前に生活できるような社会こそが、正常(ノーマル)な社会であるという考え方です。

○ 高齢者疑似体験



小学生用の体験
セットも
あります!

【内容】
体験セットを身につけ、高齢になったときのからだの変化を体験し、思いやりのある接し方を学習します。

その他、体験してみたい内容などがありましたら、お気軽にお電話などでお問い合わせください!

